

新型コロナウイルスに、負けないために!



新型コロナウイルス感染症

**宮城県・仙台市
緊急事態宣言
発令中**

まん延防止等重点措置適用
4月5日から5月5日まで

《まん延防止等重点措置》
★県民への要請(県内全域)



期 間：令和3年4月5日(月曜日)午後8時から令和3年5月6日(木曜日)午前5時まで
対象施設：食品衛生法上の営業許可を取得している飲食店 ※一部対象外の飲食店あり
要請内容：午前5時から午後8時までの時間短縮営業(酒類の提供は午前11時から午後7時まで)
●まん延防止等重点措置では、悪質な場合への過料の罰則が規定されています。

コロナ禍関連(感染対策)の質疑・提言(一部を抜粋)

- 毒性が強化されワクチンも効かないときの、市民の命を守る心構えと対処
- 状況変化で市の業務が激増する。業務継続の体制・運営は、市長のマネジメントが重要
- 市民の生活インフラのほか、物資・食料などの物流維持・統制の計画、複合災害の想定
——令和2年度 予算等審査特別委員会/2020年2月25日
- 優先業務及び不急の業務の区分けによる行政事務の集中と効率化、財源確保
——令和2年度 予算等審査特別委員会/2020年3月6日
- PCR検査拡大、医療スタッフの防護、発熱外来設置、軽症者受入療養施設の確保
- 業務集中部署への大胆な組織強化・増員、市民の不安払拭・行動自粛等への広報発信
- オンライン教育の加速、エアコン設置の加速、教育格差の解消
——令和2年 第1回臨時会/2020年5月1日 会派を代表しての質疑
- 仙台市新型コロナウイルス感染症緊急対策プラン
- 市長のこれまでの意思決定の検証と見直し(市立学校の始業式・入学式の直前での延期は教育委員会と市長の連携不足、国や県との関係不透明、責任と権限の整理不十分)
- 第二波到来までの着実な備え。サプライチェーンの国内回帰や地産地消、ひとの地方回帰
- コロナ禍で開設する自主防災組織への感染防止資機材の交付
——令和2年 第2回定例会/2020年6月16日 会派を代表しての質疑
- 市立病院のコロナ禍対応、円滑な接種、変異株・パンデミックへの懸念、庁内対応体制の拡充
——令和3年 第1回定例会 予算等審査特別委員会/2021年3月8日

ワクチン接種の概要(4月中旬時点の状況)

- 優先順位(国の定めによる)**
 - ① 医療従事者等(県が調整・実施中)
 - ② 65歳以上の方(令和3年度中に65歳になる者を含む)
※高齢者施設入居者から開始
 - ③ 64歳以下の基礎疾患持ちの方(自己申告)
 - ④ 高齢者施設等従事者(施設入居の高齢者と同時接種の特例あり)
 - ⑤ その他の人(15歳未満は接種不可)
 - 接種方式(仙台市は、次の3方式)**
 - 高齢者施設などの訪問接種(施設の嘱託医が接種)
 - 病院・診療所での個別接種(市内約470か所/平日中心)
 - 特設会場での集団接種(市内22か所(うち15か所は市民センター)/土日祝日)
※若林区は、若林中央市民C(別棟)、七郷市民C、六郷市民C
 - 接種券**
 - 64才以上は3月末に送付済み。64才以下への送付は未定(調整中)
 - ※高齢者施設の接種を先に行います。券は大切に保管してください。
 - 予約方法・接種の流れ**
 - 個別接種：各診療所へ連絡して予約
 - 集団接種：Web予約システム、コールセンターでの電話予約
 - 接種当日は接種券と、身分証明書(保険証や免許証など)が必要
 - コールセンター 0570-05-5670(8:30~19:00(土日も対応))**
 - ※4月中は集団接種・個別接種を行わないため、当面は予約の受付を行いません。
 - 個別・集団の予約時期については、後日、市から各種手段でお知らせされます。
- ☆ ワクチンの早期入手、広報発信について引き続き国・市に訴えてまいります!



事業者の方々へ

感染症拡大防止協力金制度が改良されました!

この度宮城県に適用された「まん延防止等重点措置」により、仙台市でも営業時間の短縮要請が午後8時以降も営業している飲食店にまで拡大されることとなりました。この要請に全面的に協力した事業者に対し協力金を支給する「感染症拡大防止協力金」制度は、これまで店舗数のみにより支給額が決定されてきましたが、今回(第5期)より新たに、**店舗ごとの売上額や売上の減少額に応じて支給額を算定する柔軟な仕組みに変更されました。**経済環境委員長として、今後も実情に応じた提案の実現を目指してまいります。

これまで

1店舗あたり
●●円

↓↓↓↓

新しい制度

売上高方式 または 売上高減少額方式

(第5期)
令和3年4月5日(月)午後8時
~5月6日(木)午前5時

コロナ禍関連(経済対策)の質疑・提言(一部を抜粋)

- 中小企業等支援、経済相談窓口の拡充、ガス・水道料金の減免
——令和2年 第1回臨時会/2020年5月1日 会派を代表しての質疑
- 10万円の特別定額給付金の発送作業や対応への批判と原因
- 地域産業協力金、地域産業支援金、割増商品券発行の事業化、経済成長戦略・交流人口ビジネス活性化戦略の見直し、市全域を対象とした宿泊料に応じた助成額の設定など
——令和2年 第2回定例会/2020年6月16日 会派を代表しての質疑



全国20市からなる自民政令指定都市議連で、国から財源を大幅確保!

昨年度、政府の緊急経済対策で「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設されましたが、自治体の財政力指数による配分方法だったことなどから大都市には不利となり、1回目の交付は約18億円でした。大都市には人口・産業が集積し、必然、感染者数が多くなりますので、集中的対策によってウイルス感染を封じ込め拡大防止を図らねばなりません。その必

要性を全国20の政令市自民党市議連で国に訴え、2回目は初回のおよそ3倍である約59億円の財源を確保することができました。自治体の財源には限りがあるため、交付金や補助金の獲得が施策推進の大きな力ギとなります。これからも議会として国に対する働きかけを、あらゆる手段で、しっかり行っていかなければなりません。

東日本大震災から10年。“次”を見据えて——



これまでの復興の歩みの中で生まれた「防災・減災」の考え方は、国内外の取組みに影響を与えています。特に、仙台市議会による国及び全国市長会への働きかけや、自民党政令市議連ネットワークでの活動によって「災害救助法」の改正がようやく行われたことは、今後の被災者の苦しみの早期解決につながるものと確信します。

また、議員提案で制定した「防災・減災のまちづくり推進条例」は、災害への強靱性だけでなく、良好なコミュニティ形成による誰もが安全で安心なまちづくりに取り組む拠り所になるものと考えます。

一方、みなし仮設の家賃の現金給付問題、課題を抱える被災者へのケア、大災害を経験していない職員・市民の増加、コロナ禍・複合災害への対応など、さらなる議論と行動が必要です。

“新たな杜の都”をつくる

市の最上位計画である「仙台市基本計画(令和3～12年度)」が、この4月から始動しました。まちづくりの理念は、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」です。

およそ2年半の間、審議会の委員として策定作業に携わってきました。検討の初期段階には、従来の「杜の都」は必要か?といった議論もありましたが、杜の緑のイメージには、山から海に至る森林と水の豊かな自然、こどもや高齢者・弱い立場の方への思いやり、人を育み、それぞれの花を咲かせることのできる都市の優しさが含まれており、私たち仙台市民の目指すものと、訴え、現在に至りました。

様々な施策の方向性を定めましたが、頻発する災害等から命と生活を守る安全安心、市民一人ひとりの積極的な市政参画(真の市民協働)、モノ・カネに限らない幸せの価値観の見つめなおしが大切と考えます。

仙台市基本計画
(令和3年度～令和12年度)



下記のURL(▲QRコード)から、計画の詳細がご覧になれます。

URL▼
<https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakaku/shise/zaise/kekaku/sogo/index.html>

総合計画

基本計画

- ・目指す都市の姿
- ・10年間の方向性

実施計画

- ・概ね3年間の事業計画



教育の現場、現実に即した予算配分を!

昨年12月、仙台市教育委員会が泉区の小学校講師を「いじめ実態調査」の回答を改ざんしたとして懲戒免職にしました。後日、当該講師がそれ以前から児童に暴行・パワハラを行っていたことが明らかになりました。仙台市の小中学校では、産休・育休・病休で常時200～300人の教員が休んでいます。その代わりに、かつて問題を起こした講師を採用せざるを得ないほど、教員の確保は深刻な状況にあります。

この問題をさらに悪化させているのが、「本市独自の35人以下学級」の導入といわれています。

これまで度々指摘していますが、市立学校で命を絶った4件の痛ましい事件は、いずれも35人以下の学級で発生しています。35人以下学級の導入後も、トラブル・いじめ、教員の多忙感は改善せず、不登校は毎年増加し、最新のデータでは1,877人(令和元年度)にまで増えています。

これらの議会での指摘にもかかわらず、令和3年度にも独自予算の拡充が行われました。果たしてこのままで良いのでしょうか。教育現場の課題解決策を、根本的に見直さなければなりません。

その他、これまでの質疑・提言(一部を抜粋)

- 駅東地区の開発や東北放射光施設の整備、都心再構築プロジェクトや東北学院大学の移転、あすと長町地区の開発、泉区役所の建て替え、南小泉茂庭線の宮沢橋工区の橋梁工事の安全対策や橋梁本体の強度・耐久性、田子や井土浦川排水機場などの施設の浸水や運転の遅れ、千島湾湾型地震への警戒
- 認可外保育施設事業費・子ども食堂を運営する団体への助成とネットワーク化への支援・2歳6か月児歯科健診を含む幼児健康診査の再開
- 学校エアコン導入工事の遅れ、教育現場の負担軽減、いじめ等問題

令和2年 第2回定例会/2020年6月16日 会派を代表しての質疑

- オレオレ詐欺など、特殊詐欺の巧妙化への対応
- 戸籍住民基本事務の入札の透明性の確保

令和元年度 決算等審査特別委員会(第2分科会)/2020年9月23日

- 災害時における、学校職員の登庁・負担の軽減と適切な手当
- これまで35人学級に11億円かかっているが、学校修繕や不登校対応ステーションが先だ。

令和3年 第1回定例会 予算等審査特別委員会/2021年3月5日



▲ 都市公園の樹木管理の適正化も進めています

質疑・提言で多くが実現しましたが、未達成のものもまだ多数あります。聞こえの良いパフォーマンスによらない、真の施策展開を求め進めてまいります!

菊地たかよし プロフィール

昭和43年 仙台市生まれ / 七郷小学校、蒲町中学校、仙台第一高等学校、東北学院大学(法学部)卒業
平成5年 陸上自衛隊入隊(防衛省陸上幕僚監部、東北方面総監部、第一線部隊等) / 平成22年 二等陸佐で退官 / 平成23年～ 仙台市議会議員(現在三期目) / 令和3年 東北大学大学院(公共政策)卒業

役職など(令和3年3月31日現在)

- 経済環境委員長 ● 歴史まちづくり調査特別委員 ● 仙台市農政推進協議会委員 ● 仙台市水防協議会委員
- 仙台市都市計画審議会委員 ● 仙台市議会会派・自由民主党 政調会長 ● 仙台市拉致救出議連 幹事長
- 仙台歯科医師議員連盟 事務局長 ● 日タイ友好仙台市議会議員連盟 事務局長 ● 自由民主党仙台市支部連合会 幹事長
- 自由民主党宮城県支部連合会 幹事長代理 ● 仙台市私立幼稚園PTA連合会 副会長
- 仙台市立蒲町中学校 同窓会長 ● 防災士・地域防災アドバイザー ● 自衛官募集相談員 ● 防災士 など

編集・発行 / 菊地崇良事務所

〒984-0038 仙台市若林区伊在1丁目12-27
TEL 022-390-4105 / FAX 022-288-2342
Eメールアドレス: info@kiku-taka.jp



自衛官を募集します

陸上・海上・航空自衛隊の様々な募集項目があります!
安定・安心して勤務できるような充実した
福利厚生・各種手当を完備しています。



★★★ お気軽にお問い合わせください! ★★★

自衛隊宮城地方協力本部 名取地域事務所
(若林区、太白区、名取市、岩沼市担当)

TEL: 022-383-8752

E-mail: natori-miyagi@rct.gsd.f.go.jp

※ 自衛官募集は、自治体の法定受託事務です。